

書籍紹介



米中戦争 「台湾危機」驚愕のシナリオ

【著者】宮家 邦彦

出版社 朝日新聞出版

ISBN 9784022951458

価格 本体 810 円＋税 電子書籍 600 円＋税

発行 2021 年 10 月初版

概要

米中の武力衝突のリスクが日に日に高まっている。
台湾有事を契機とする「世界大戦」は決してフィクションではない。

本書は、安全保障学の重鎮である著者が、民兵による攻撃など平時と有事の隙間をつく「グレーゾーン事態」と、情報、サイバー、宇宙などの「ハイブリッド戦争」の最前線に迫り、起こりうるべき現実的なシナリオを精緻に描き、中国の脅威をどう抑止するかについて分析する。また、米中の中で日本はどうか対応すべきか考察する。

「新冷戦」から「熱戦」へと変わりつつある米中対立の行方を、最新地政学を駆使して読み解く、必読の書。

目次

- 第一章 国交正常化後の米中関係
- 第二章 中国の発展に関するモデル分析
- 第三章 「脅威」とはなにか
- 第四章 「能力」以上に重要な「意図」
- 第五章 中国の「目的」「動機」を左右する内外情勢
- 第六章 「グレーゾーン事態」「ハイブリッド戦争」
- 第七章 「グレーゾーン事態」「ハイブリッド戦争」を如何に抑止するか
- 第八章 米中の軍事対立に関するマトリックス分析
- 第九章 中台双方の「目的」に関するマトリックス分析
- 第十章 中台双方の「動機」に関するマトリックス分析
- 最終章 米中戦争を如何に「抑止」するか